

例会報告 Rotary



奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために

第2648回例会 令和3年10月8日
ゲストスピーチ

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 鴻野 幸泰
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 向井 公規
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 田邊 淳

<会長の時間>

寒露とは、二十四節気の第17節目です。二十四節気は日付固定ではないので、日付は変動します。今年の寒露は本日10月8日で次の第18節の霜降の10月23日までの15日間くらいを指します。



又寒露とは、晩夏から初秋にかけて野草に宿る冷たい露のことで秋の長雨が終わり、本格的な秋の始まりになります。このころになると五穀の収穫もたけなわで、農家では繁忙を極めます。

露が冷たい空気と接し、霜に変わる直前で、紅葉が濃くなり燕など夏鳥と雁などの冬鳥が交代される時期でもあります。

このころは、大気の状態が安定して空気が澄んだ秋晴れの日が多くなり夜には月も美しく輝いて見えます。寒露の頃になったら空を見上げてみてはどうでしょう。これまでと違った、秋の清々しさを感じる空に出会えるはずですよ。

<幹事報告>

◎ガバナーより

- ・2024-2025年度ガバナー（ガバナーノミニー・デジグネート）候補の推薦について
推薦締切日 2021年12月31日
提出先 地区ガバナー事務所「地区指名委員会」委員長 劔田 廣喜、委員 田山 雅敏、木村 静之、辻 正敏

◎濃飛グループガバナー補佐より

- ・ガバナー公式訪問時の懇談予定内容およびガバナー回答について

◎RI日本事務局より

- ・10月のロータリーレートについて 1ドル112円（9月110円）
- ・リソースのご案内 「地域社会の経済発展月間」「End Polio Now」

◎高山市社会福祉協議会より

- ・第2回まちなかてくてくマルシェについて（ご案内）
日時 11月13日（土）10:00~15:00 雨天決行
会場 総合福祉センターおよび書くスタンプラリー会場

<例会時間変更>

高山 … 10月7日（木）、14日（木）、21日（木）、28日（木）は高山信用金庫本店3階大会議室にて、12:50~13:30（食事なし）

※ビジターの出席はご遠慮いただきますようお願い申し上げます

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
33名	-	33名	34名	97.06%

<本日のプログラム> ゲストスピーチ

会長 鴻野 幸泰

本日は、10月31日に開催予定しておりました財団補助金事業の「飛騨地区障がい児・者フェスティバル」において、共催をお願いしていた高山地区手をつなぐ育成会よりお二方にお越し頂き、日々の活動についてお話しいたします。

そもそも私がこの様な催しを…、と思うに至りましたのは、同級生である坂垣内さんが育成会に関わるお話を伺う中で、障がい者が安心安全に楽しめる場を提供することに協力できるのではないかと考えたからです。今回、コロナ禍の影響を鑑み、残念ながら「飛騨地区障がい児・者フェスティバル」は中止の決断に至りましたが、代替案について今後検討するにあたって、引き続きご協力いただきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

お二方をご紹介します。帆ノ下 久美子 様は、高山市手をつなぐ育成会の顧問として、今回の企画に当初からご協力いただいています。そして同級生の坂垣内 孝幸 様は、山ゆり連絡協議会 会長として、各やまゆり園との連絡調整についてもご尽力いただいています。本日はどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

高山地区手をつなぐ育成会 顧問 帆ノ下 久美子 様

今回高山西ロータリークラブさんとのご縁をいただき、大変感謝いたしております。

今日は、障がいのある人達の働く姿をご紹介させていただきます。働く姿はさまざまですが、一人一人が夢を持って一生懸命取り組んでいる様子を見ていただき、障がいがあっても社会の一員として暮らしたいと願っていること、周りが理解し、配慮すれば力を発揮できるということを知っていただき、そのために私たちに何ができるか一緒に考えていただける時間となればありがたく思っています。

最初に私が運営に関わっている『ウェルコミュニティ飛騨』事業所の様子を見ていただきながら、就労支援の状況を説明させていただきます。

通所型の就労支援事業として「就労継続支援事業B型」「就労移行支援事業」があります。これらの支援を受け、企業に就職された方のサポート事業としては「就労定着支援事業」というものがあります。もう一つ当法人では、高山市から委託を受け「高山市障がい者雇用創出事業」を行っています。



例会報告

就労継続支援事業 B 型は、障がいの種類も精神・身体・知的と色々な方が利用されています。目的も、卒業して今すぐは難しいけれど、将来の就職を目指してゆっくりと力を付けたい。今まで企業で働いていて、理由があって退職したけれど、これからは生きがいを持って暮らしたい。働くことに不安が大きいので、生活のリズムを崩さないためにこの作業所に通いながら自分に合った働き方を考え自信をつけたい。できればもう一度就職したい。作業しながら働く喜びを感じたい。等、様々です。それぞれの障がいの特性や一人一人の思いに寄り添い支援します。

すべてをやってやるのではなく、できるところは自分で行う。得意なところをさらに伸ばす、できないところを支援する。工賃も大切ですが、作業は訓練の一環であり、集中力や職場でのルール、社会性を意識しながら支援にあたっています。



施設内での作業訓練として、各企業様からの請負作業の他に、EMやボカシ、リサイクル石鹸、グリセリンソープ、バスボム、ペーパークイリング、フュージング等を自主生産しています。



施設外での作業訓練として、車検や整備の終わった車の洗車、そして広い畑での草取り等、暑い夏や寒い冬でも頑張って取り組んでいます。

就労移行支援事業とは、原則2年間のうちに一般の会社での就職をめざします。就職に必要な力を身につける訓練、就職活動、就職後のフォローを行います。

作業訓練では、実際の企業で働き、経験を積みます。

銀行ATM周辺の掃除では、お客様の利用の邪魔にならないよう、状況に応じて清掃を行うという点で、良い訓練となっています。



店舗の清掃作業は、決められた時間内に作業を完了させる意識をもって取り組みます。



スーパーのバックヤードでの実習もあります。緊張感をもって行う施設外での作業は、体力や集中力をつけ、将来の就職に向けてとても良い訓練となっています。



座学では、就職した際に必要となるコミュニケーション力や社会人としてのルールやマナーを身につけます。

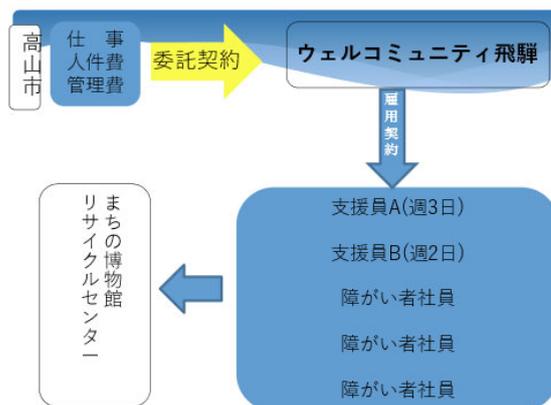


基本的な文字入力からエクセルの基本操作、インターネット検索等のパソコン技能の習得から、自分に合った仕事探しや履歴書の書き方、ビジネスマナー、面接の練習、社会人の身嗜みと言葉遣い、余暇の過ごし方などを就労に向け学習します。

適した求人が見つかり次第、就職活動に入ります。ハローワークでのしごと探しや面接の同行、就職前の実習でのジョブコーチ支援、助成金の手続きや雇用の際の契約のお手伝いをしています。

就労定着支援としては、就職後(6ヶ月)、定期的に職場を訪問し、楽しく働き続けるためのきめ細やかな相談支援を行います。

さらに就労定着支援のサービスを利用して頂くことで3年間、職業生活のサポートを行います。



例会報告

平成 22 年度よりウェルコミュニティ飛騨が高山市より受託している『高山市障がい者雇用創出事業』は、施設外就労ではなく、法人で雇用した障がい者 3 名と支援員を配置し、高山市関連施設（リサイクルセンター、まちの博物館）の管理業務を行うものです。働く準備が整いながらも動機づけが弱かったり、不安が大きく一般就労に踏み出せない障がい者に有効です。給料（月 10 万円程度）を手にし、社会貢献が実感できることで働く自信と働きたい気持ちが育ちます。青空作業所での訓練 → 雇用創出事業 → 一般就労という流れで、事業終了後は、一般就労へ繋がります。

障がい者へは、日中活動・余暇支援が大切で、趣味を持っている人も少なく、今回の「障がい児・者フェスティバル」の様な催しが必要な励みとなります。社会の一員として、地域で働く一人ひとりにご理解をいただきますようお願い申し上げます。

山ゆり連絡協議会 会長

坂垣内 孝幸 様

本日は私の関わっております山ゆり連絡協議会、および大野山ゆり園手をつなぐ育成会についてお話しさせていただきます。

山ゆり連絡協議会は、飛騨慈光会が運営する障害者支援施設、障害児入所施設である山ゆり 5 園の保護者会の連携、協力調整を目的として、5 園の保護者会の三役（会長、副会長、事務局長）を会員として平成 21 年に発足しました。各園の活動情報の交換、県大会、東海北陸大会、全国大会等の参加時の交通手段・宿泊等の調整等を行っております。



大野やまゆり園手をつなぐ育成会は平成 10 年発足、55 名の会員数で会長以下役員 18 名、担当職員 2 名。役員会は年 3~4 回開催しています。

手をつなぐ育成会の活動内容としては

- 4月 総会 前年度決算、年間事業、年間予算計画等の提案と承認
- 5月 山ゆり連絡協議会総会・県育成会参加・支援協会総会
- 6月 園内整備（事業委員会）
- 7月 親子遠足（行事委員会）
- 8月 研修会（研修委員会）
- 10月 運動会（行事委員会）、東海北陸大会参加・全国大会参加
- 11月 農場作業（事業委員会）
- 12月 職員保護者合同懇親会（行事委員会）園内大掃除（事業委員会）

1月 新年（成人、還暦、等）を祝う会

2月 研修会（研修委員会） 毎月 保護者会たより発行



親子遠足（牧歌の里）



運動会



農場作業



新年を祝う会（成人・還暦・米寿等のお祝い）

入所者の高齢化に比例して保護者の高齢化も進み、活動への参加が困難となる方もみえています。そこで兄弟の参加を願ひし、名称も保護者会ではなく「手をつなぐ育成会」としました。

大野やまゆり園利用者支援会は、利用者の福利向上の財政的支援を行う事を目的に平成 24 年に発足し、以下の活動を行いました。

- 平成 25 年度 ハイエース車両購入補助
- 平成 27 年度 福祉車両購入補助 通路防風シート設置
- 平成 28 年度 中庭芝張り工事
- 平成 29 年度 芝刈り機購入
- 令和元年度 マイクロバス購入補助
- 令和 2 年度 除雪機購入

<ニコニコボックス>

●鴻野 幸泰さん、向井 公規さん

本日はゲストスピーカーとして高山市手をつなぐ育成会 顧問 帆ノ下様、山ゆり連絡協議会長 坂垣内様にお越し頂きました。お忙しい中ありがとうございます。後ほどの卓話をどうぞよろしくお願ひ致します。

●米澤 久二さん

手をつなぐ育成会 帆ノ下様、坂垣内様のご来訪ありがとうございます。今日のお話楽しみにしています。

●塚本 直人さん

10 月に入り良い天気が続いてありがたいです。だけど秋というにはちょっと暑いような…。本日は残念ながら中止になった財団補助金事業実行委員会でお世話になった帆ノ下様、坂垣内様が来訪されました。いつもありがとうございます。卓話を楽しみにしています。

●古橋 直彦さん

昨晩は秋の高山祭の試楽祭試しの祭りが桜山八幡宮本殿にて一部の関係者のみで執り行われました。来年こそは盛大かつ厳粛なお祭りが出来る事を願ひます。

●伊藤 松寿さん、平義孝さん、内田 幸洋さん、田中 武さん、門前 庄次郎さん、遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん、下屋 勝比古さん、新井 典仁さん、田邊 淳さん、杉山 和宏さん、堀 幸一郎さん

「社会のために人のために」 ニコニコ委員会

自分はここにいるのだよ

大声上げるよりも

人のため

自分にできることを 考え 実践する方が楽しい